

県外派遣審判員報告書

作成日 2019年 3月 19日

大会名	第17回九州ジュニアオールスターバスケットボール交歓大会		会場	大津町総合体育館	
期間	3月16日(土)~3月17日(日)		報告者	上野 壮一郎(中体連)	
スケジュール					
期日	内容			場所	
3月16日(土)	9:30~	大会1日目		大津町総合体育館	
3月17日(日)	9:00~	大会2日目		大津町総合体育館	
審判会議の内容					
審判会議なし					
割り当て	3月16日	男子予選リーグ【沖縄 対 熊本B】	副審	相手	廣田(熊本県)B級
		女子予選リーグ【大分 対 福岡】	副審	相手	若杉(熊本県)B級
	3月17日	男子2位パート【宮崎 対 佐賀】	副審	相手	東山崎(鹿児島)B級
		男子3位パート【熊本B 対 長崎】	主審	相手	芦江(熊本県)D級
<p>○PGCO</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム情報の共有 ・お互いのプライマリーエリアの確認 ・各自の苦手なケースや課題の共有 ・接触に対するリーガル・イリーガルの判断をしっかりと行うこと ・イリーガルな手の使い方の確認 ・ブレイクの際のリードとトレイルの役割の確認 					
<p>○ゲーム中○</p> <p>16日のゲームでは序盤試合にスムーズに入っていくことができず、主審の方に助けられた場面が多かった。特に女子予選リーグ【大分 対 福岡】では選手のスピードに慣れるのに序盤苦労した。アウトサイドプレイヤーの飛び込みリバウンドに対する判定がうまくできなかった。</p> <p>男子の試合を担当することが多く、ある程度はお互いにプレーをさせることを心掛けた。しかし、ポストアップに対するイリーガルな接触を序盤で笛をならすことができない部分があった。</p> <p>主審を担当した試合では細かい判定等については考えなければいけない箇所もあったが、相手審判と次の試合の展開や押さえるポイントについて常にコミュニケーションを取り、それがしっかりと押さえるべき判定につながった部分があったのは良かった。</p>					
<p>○ゲーム後のMTG○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任がついていなかったため、主審・副審でMTG ・アウトサイドプレイヤーの飛び込みリバウンドに対する判定がうまくできなかった部分に関してショットを打ったあとにアングルを変えることでもっといい判定ができたのではないかとアドバイスをいただいた。 ・アウトオブバウンズの判定についても互いしっかりと判定していくことの重要性を再確認した。 					
全体を通しての感想					
<p>初めての県外派遣、また県選抜同士の試合を担当するということで緊張し、特に初日の序盤はうまくゲームに入ることができなかった。日頃審判をしているゲームよりレベルの高いゲームを担当させてもらったことで素晴らしい経験をさせてもらった。改めて、日頃の取組・ルールブックの理解やPGC・MTGでゲームを振り返ることの重要性を確認するいい機会となった。</p> <p>県外の方と審判をすることでさまざまな視点からプレーを振り返るとともに、主審としての役割もさらに学ぶことができ、この2日間で得た経験を今後につなげていきたい。</p> <p>最後に、このような機会を与えて下さった県審判委員会やさまざまな場面でお世話をして下さった熊本県審判部の方々に感謝申し上げます。第17回九州ジュニアオールスターバスケットボール交歓大会の報告といたします。</p>					